

由利本荘市概要

秋田県由利本荘市



2005年(平成17年)3月22日
1市7町が合併し、由利本荘市が発足。
面積は・・・ 1,210 km²
人口は72,262人 世帯数30,838
高齢化率38.8% (R5.4月末現在)

車で走ると・・・
北端の岩城地区から南端の鳥海地区まで
車で1時間半～2時間弱。

由利本荘市の相談包括的支援体制の構築

R1年度 包括的支援の在り方に関する部内検討

R1より相談支援の包括的な体制の在り方について検討が始まる。前部長から、当時市が抱える困難なケースへの対応について、より市民のためになるような方法への問題提起があった。

国では包括的な支援に対して、制度化を念頭に全国200か所を超える市町村でモデル事業が行われており、由利本荘市でも大きな流れを捉えつつ、市独自の取組への動きが始まった。

その中で部内研修会や説明会を行いつつ、どのような体制が理想であるか構想が固まっていた。

総合相談担当の在り方

総合相談で大切にしていること

・フットワークを軽く

多くが相談機関からの相談が多い、我々よりも遥かに経験も知識もある、まずは動きを軽く、断らない対応をする。

・コミュニケーションを大切に「協働」の気持ちを忘れない

多職種連携は時に意見が違う組織をまとめる必要が出てくる。それには話し合い、難しい問題と一緒に取り組むこと。

由利本荘市の相談支援体制

これからの相談支援体制とは？

・ 総合相談担当の設置（R02・4～）

実際の相談支援の現場では、障がいだけに留まらず、相談支援専門員は多岐に渡る多職種連携を求められる、時にかなりの負荷がかかる現場も多い。由利本荘市では実際の支援での問題点やより良い連携を求め、R2年度に新たに「**総合相談担当**（保健師2、社会福祉士1）」を配置し、民間と協働する新たな連携を開始！

総合相談担当は年齢や分野の**制限を一切持たない**相談支援専門員の担当となり、民間相談支援事業所や関係機関（医療、教育etc）の専門性を最大限発揮できることを第一に活動

由利本荘市の相談支援体制の活動状況

・多職種連携の実践

このような総合相談の体制の理解が生まれた背景には・・・

基幹相談支援センターと市の長年に渡る協働の経験から生まれた、信頼関係による問題解決力の成果があったからと考える。

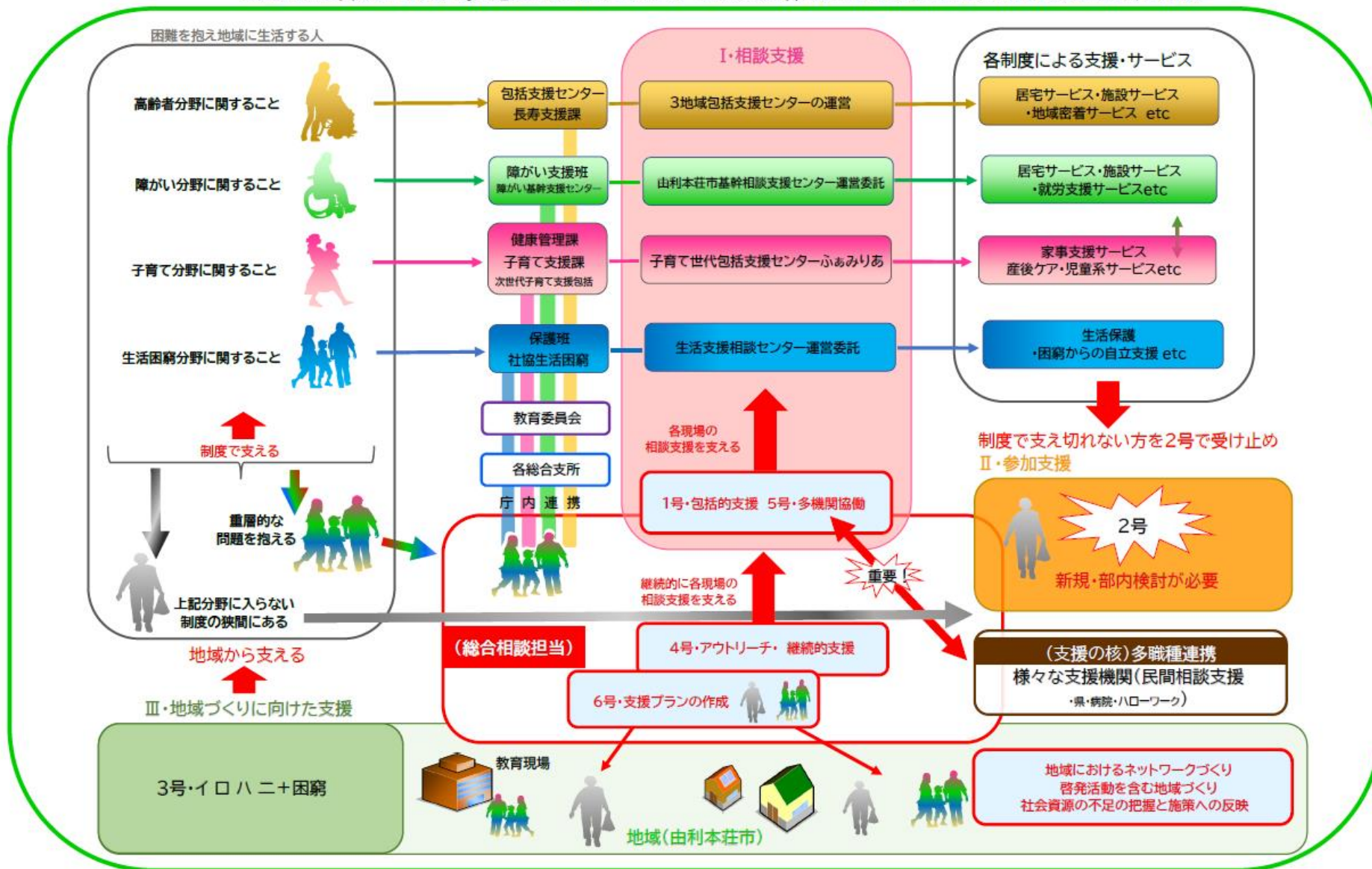
・活動結果 391件 (障がいを含むもの21%)

相談支援専門員に同行させてもらい、支援の現場や連携のノウハウを教えて頂いた。「ソーシャルワークの基礎の基礎」が学べたのではないかと考えている。

また、全域の高齢者分野のケア会議や先ほど紹介した相談支援事業所の定例会など参加可能なケア会議、ケース会議等に参加し各分野の地域課題の理解と担当の周知に努めた。

地域共生社会

社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す



重層的支援体制整備を活用した由利本荘市の支援

◎ 民間と真の意味で連携した、 実践力ある包括的支援の実現を目指す

- ・日ごろから、コミュニケーションを取り合い信頼関係を構築しながら、互いの持ち味(専門性)を発揮し、難しい問題に果敢に協働で取り組む体制。
- ・日々の問題の中から、相談支援だけではなく施策や社会資源を創出できる体制
- ・何より利用者の立場に立った支援！(言葉だけでないストレングス視点からの支援)